

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
犬学Ⅲ		動物健康美容学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	松岡 樹

授業の概要

- ・犬種について
- ・さまざまな犬種、その犬種の特徴（被毛、毛色、身体的特徴など）について
- ・犬体各部の基礎知識

授業終了時の到達目標

- ・犬種のスタンダードについて理解する
- ・さまざまな犬種を知り、特徴を理解する
- ・犬体を理解し、正しい犬体を描くことができる

実務経験有無 実務経験内容

無

時間外に必要な学修

毎時間小テストを行います。
 しっかり復習をしましょう。
 また、正しい犬体を理解することはカットにおいてとても重要です。
 1日1回は犬体を描くよう意識しましょう。

回	テーマ	内容
1	導入	犬種について
2	犬の体	目の形・色、耳の形、尾の種類、噛み合わせ
3	グループ	犬種の用途やルーツによるグループ分け
4	犬の種類	1グループ
5	犬の種類②	2グループ
6	犬の種類③	3グループ
7	犬の種類④	4グループ
8	犬の種類⑤	5グループ
9	犬の種類⑥	6グループ
10	犬の種類⑦	7グループ
11	犬の種類⑧	8グループ
12	犬の種類⑨	9グループ
13	犬の種類⑩	10グループ

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	犬の体	犬体図作成		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
犬種図鑑		期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
犬学Ⅳ		動物健康美容学科／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	松岡 樹
授業の概要				

本科目はトリマー・動物看護師として必要な犬の外観的特徴を理解し、多方面から犬・猫についての説明を行うための知識を学びます。犬猫の体の構造の基礎となる、骨格、筋肉、被毛の知識を学び、その特徴と飼育管理における飼主様へのアドバイスを行える人材を育成します。また犬体の特徴を理解し、イラスト描かけるようになることでトリミング仕上がりのイメージや臨床現場においての説明に、役立てることができる。

授業終了時の到達目標

犬猫の骨格、筋肉、皮膚、被毛の構造と特徴を理解する。様々な種類の犬体を描けるようになる。トリミングの仕上がりイメージを形にすることができる。犬の解剖的特徴・生理学的特徴 主な病気について学ぶ。

実務経験有無	実務経験内容
無	
時間外に必要な学修	

回	テーマ	内容
1	前期のおさらい1	前期の復習と科目的目的と成績評価方法について理解する。犬体・骨格について。犬の絵が描写できるようになる。
2	前期のおさらい2	犬体各部の特徴。被毛について
3	ペットツーリズムについて	ペットと旅行に行く際の適切なアドバイスを学ぶ
4	犬種を理解する1	トリマーとして必要な犬種の知識を身につける
5	犬種を理解する2	トリマーとして必要な犬種の知識を身につける。犬種の原産と用途
6	犬に必要な食事と栄養について理解する1	犬に必要な栄養素とライフステージについて学ぶ
7	犬に必要な食事と栄養について理解する2	犬に食べさせていいかない食物と中毒・アレルギー症状について学ぶ
8	犬の病気予防のための知識を理解する1	犬が感染する伝染病について正しい知識を学ぶ
9	犬の病気予防のための知識を理解する2	犬に寄生する外部寄生虫について正しい知識を学ぶ
10	犬の健康チェックのための知識を理解する	仔犬から高齢犬の健康チェックのポイントと飼い主様へのアドバイス方法を学ぶ
11	仔犬の飼養管理を学ぶ	出産から成犬時までの仔犬の飼養管理方法と注意事項について学ぶ
12	老犬の飼養管理を学ぶ	高齢犬の飼養管理方法と飼育上の注意事項・介護について学ぶ
13	ブリーディングの知識を学ぶ	犬の繁殖と妊娠犬の飼養管理方法と注意事項について学ぶ

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	犬の骨格構成と歩様の関係について学ぶ	骨格構成、骨格や関節によくみられる疾患について学ぶ		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・最新犬種図鑑・最新ドッググルーマーズマニュアル・くわしい犬学		期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
公衆衛生学Ⅱ		動物健康美容学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	松岡 樹

授業の概要

1年次に学習した公衆衛生学Ⅰの続きです。

主に、人と動物のどちらにも感染する感染症について学習していきます。

トリマーとして動物の健康変化に気付けるよう、しっかり学習していきましょう。

授業終了時の到達目標

様々なZoonosisの特徴や、対処法や予防法について理解し、相手に説明できる。

実務経験有無	実務経験内容
無	

時間外に必要な学修

定期的に確認テストを行います。前回学んだ部分をしっかりと復習すること、授業中の内容を理解することが重要です。

回	テーマ	内容
1	復習	1年次に学習した内容の復
2	フィラリア症	フィラリア症についての復習
3	動物の感染症	狂犬病、ジステンパー、ケンネルコフ、猫ウイルス性鼻気管炎
4	動物の感染症②	バベシア症、皮膚糸状菌症、日本紅斑熱
5	Zoonosis	レプトスピラ症、猫ひっかき病、ブルセラ症
6	Zoonosis②	オウム病、トキソプラズマ症、パストレラ症
7	犬の伝染病	犬伝染性肝炎、犬アデノウイルスⅡ型感染症、犬パラインフルエンザ
8	犬の伝染病②	犬パルボウイルス感染症、犬コロナウイルス感染症
9	猫の伝染病	猫ウイルス性鼻気管炎、猫カリシウイルス感染症、猫汎白血球減少症
10	猫の伝染病②	猫伝染性腹膜炎、猫免疫不全ウイルス感染症、猫白血病ウイルス感染症
11	その他の伝染病	クラミジア感染症、幼虫移行症、アニサキス症
12	応急処置	人工呼吸、心臓マッサージ
13	応急処置②	異物誤食、低体温症
14	総復習	これまでに学んだ内容を復習する

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	公衆衛生学2で学んだ内容を試験する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
わかる犬の病気 授業毎の配布プリント	期末試験 確認テスト 課題・レポート		60.0% 20.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
動物健康飼育学	動物健康美容学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須

授業の概要

ペットショップ、動物病院で求められるペットの繁殖と栄養に関する基礎知識を学ぶ。動物の生殖に関する基礎理論や技術を学ぶ。動物の栄養素の代謝や働き、適正な給餌、健康状態の維持と改善方法を学ぶ。

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し段階的評価を実施する

A段階：ペットの繁殖と栄養管理の必要性を理解する

B段階：ペットとして飼育される動物の繁殖と栄養に関する基礎知識を理解する

C段階：お客様に動物の繁殖と栄養に関する説明が実践的に行うための説明ができるようになる

実務経験有無

実務経験内容

有 トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

犬猫以外にも様々な動物の繁殖と栄養管理について学ぶため、実際にペットショップに出向き、生体やそれらに関わる商品などを研究する。また愛玩動物飼養管理士試験の科目でもあるため、愛玩飼養管理学の内容も復習を行う。

回	テーマ	内容
1	動物の栄養とは	栄養とは何か、生物に対する栄養の必要性を理解する
2	犬の栄養管理	犬のライフステージ（成長過程）に適した栄養管理と育毛のための栄養バランスを理解する
3	猫の栄養管理	猫のライフステージ（成長過程）に適した栄養管理と中毒症状を起こす食物を理解する
4	エキゾチックアニマルの栄養管理	代表的なエキゾチックアニマルの栄養管理について理解する
5	鳥類の栄養管理	代表的な鳥類の栄養管理について理解する
6	爬虫類と魚類の栄養管理	代表的な爬虫類と魚類の栄養管理について理解する
7	栄養管理における注意事項	栄養の過不足により起こる症状や状態
8	動物の繁殖とブリーダーの倫理	犬・猫のブリーディング、排卵の違い、妊娠期間、交配までの流れを理解する
9	犬猫の繁殖に関する基礎知識①	繁殖の目的とブリーダーの職業倫理を理解する
10	犬猫の繁殖に関する基礎知識②	犬猫のブリーディングのリスク、出産の準備、出産の流れ、分娩時のトラブル、新生児の健康管理
11	犬猫の繁殖に関する基礎知識③	仔犬・仔猫の予防接種、ワクチンで予防できる犬と猫の感染症の種類、犬猫の登録の種類を理解する
12	エキゾチックアニマルの繁殖①（哺乳類）	エキゾチックアニマルの繁殖を行う前に理解すべきこと、代表的な種の発情周期と妊娠期間、代表的な種の雌雄の判別方法を理解する

回	テ　ー　マ	内　　容	
13	エキゾチックアニマルの繁殖②（鳥類、爬虫類、魚類）	エキゾチックアニマルの繁殖②（鳥類、爬虫類、魚類）の繁殖のリスク、出産の準備、出産の流れ、分娩時のトラブル、新生児の健康管理	
14	爬虫類と魚類の繁殖	爬虫類と魚類の繁殖を行う前に理解すべきこと、代表的な種の発情周期と妊娠期間、代表的な種の雌雄の判別方法を理解する	
15	期末試験	期末試験を実施	
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
愛玩動物withpets ペットの飼育学	期末試験 確認テスト 課題・レポート	60.0% 20.0% 20.0%	

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態			
飼養管理学Ⅱ	動物健康美容学科／2年	2025／後期	講義			
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択			
90分	30回	4単位(60時間)	必須			
授業の概要						
愛玩動物飼養管理士1級合格に向けての対策授業						
授業終了時の到達目標						
愛玩動物飼養管理士1級合格						
実務経験有無	実務経験内容					
無						
時間外に必要な学修						
繰り返し課題問題を見直し、完璧に解けるようにする						
回	テ ー マ	内 容				
1	動物の体の仕組みと働き 動物の遺伝と繁殖生理Ⅱ	課題問題1～14				
2	・動物の体の仕組みと働きⅡ ・血液と造血器	課題問題15～22				
3	繁殖生理	課題問題23～32				
4	動物行動学の基礎	課題問題33～43				
5	・個体維持行動 ・問題行動	課題問題44～52				
6	行動診療	課題問題53～59				
7	犬と猫の栄養学① (基礎栄養)	課題問題60～69				
8	犬と猫の栄養学② (食性、嗜好、嗜好性、摂食行動)	課題問題70～78				
9	犬と猫の栄養学③ (栄養要求量)	課題問題79～85				
10	犬と猫の栄養学④ (ライフステージと栄養、栄養指導)	課題問題86～92				
11	犬と猫の栄養学⑤ (栄養指導)	課題問題93～99				
12	・疾患と栄養 ・産業動物(ウシ、ヒツジ、ヤギ ...)	課題問題100～107				
13	・野生動物 ・展示動物	課題問題108～118				

回	テ　ー　マ	内　　容
14	・法学総論 ・公衆衛生行政法規	課題問題119～131
15	薬事行政法規	課題問題132～144

回	テ　ー　マ	内　　容		
16	動物の愛護及び管理に関する法律Ⅱ	対策問題		
17	動物飼育上のトラブルに関する法令	対策問題②		
18	動物の疾病とその予防①	対策問題③		
19	動物の疾病とその予防②	対策問題④		
20	動物の疾病とその予防③	対策問題⑤		
21	動物の疾病とその予防④	対策問題⑥		
22	犬の疾病とその予防①	対策問題⑦		
23	犬の疾病とその予防②	対策問題⑧		
24	犬の疾病とその予防③	対策問題⑨		
25	犬の疾病とその予防④	対策問題⑩		
26	猫の疾病とその予防①	対策問題⑪		
27	猫の疾病とその予防②	対策問題⑫		
28	動物の飼養管理と公衆衛生 (共通感染症)	対策問題⑬		
29	愛玩動物の飼養管理	対策問題⑭		
30	動物愛護管理行政	対策問題⑮		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物使用管理士1級テキスト。課題報告問題		期末試験 課題・レポート	40.0% 60.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
ペットショップ学Ⅲ	動物健康美容学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

ペットショップで求められる知識について学ぶ

授業終了時の到達目標

ペットショップで即戦力となる知識を身につける

実務経験有無

実務経験内容

有

福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	導入 フォトブース制作	前期の復習 フォトブース案を考える
2	フォトブース制作②	フォトブース作成
3	フォトブース制作③	フォトブース作成②
4	フォトブース制作④	フォトブース作成③
5	フォトブース制作⑤	フォトブース作成④
6	フォトブース制作⑥	フォトブース作成⑤ 実際に写真を撮ってみよう
7	フォトブース制作⑦	フォトブース作成⑥ 撮った写真を展示用に装飾してみよう
8	猫	猫の飼養管理
9	猫②	猫の飼養管理② 猫の一生
10	猫③	猫の飼養管理③ 猫のコミュニケーション
11	猫④	猫の飼養管理④ 猫のコミュニケーション②
12	POP	POPについての知識
13	POP②	POPを作ってみよう
14	後期まとめ	後期に授業内容のまとめと復習

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	期末試験	筆記試験を実施する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ペットショップ 基礎&実践	期末試験 確認テスト	60.0% 40.0%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ペットショップ学IV		動物健康美容学科／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	角田 有優美

授業の概要

ペットショップで求められる知識について学ぶ

授業終了時の到達目標

ペットショップで即戦力となる知識を身につける

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	科目的目的・ペットショップとは。 前期のペットショップ学の復習 現場の状況を振り返る	前期のペットショップ学の復習 現場の状況を振り返る
2	犬と人間の関り	犬の家畜化の起源、人間社会における犬の役割の変遷（狩猟犬、番犬、愛玩犬など）、現代社会における犬の位置づけ
3	生体販売時の接客	生体販売におけるプロフェッショナルな接客方法について学ぶ
4	犬種	トリミングで関わることの多い犬種について知る
5	犬種②	トリミングで関わることの多い犬種について知る
6	犬種③	トリミングで関わることの多い犬種について知る
7	犬種④	トリミングで関わることの多い犬種について知る
8	犬種⑤	トリミングで関わることの多い犬種について知る
9	犬種⑥	トリミングで関わることの多い犬種について知る
10	犬種⑦	トリミングで関わることの多い犬種について知る
11	犬種⑧	トリミングで関わることの多い犬種について知る
12	犬種⑨	トリミングで関わることの多い犬種について知る
13	ハーブパックについて	ハーブパックやオプションメニューについて知る

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	ハーブパックについて②	実際にハーブパックをやってみよう		
15	期末試験	筆記試験を実施する		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
ペットショップ基礎&実践	期末試験 確認テスト	60.0% 40.0%		

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング総論	動物健康美容学科/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

トリマーとして求められる各犬種のトリミング知識の習得を目標とした座学。
専門用語知識だけでなく、各部位のトリミング要点を理論的に解説し、知識面で技術のサポートを行える内容を学びます。
また、JKCトリマーC級学科試験の対策も行います。

授業終了時の到達目標

トリマーとして必要なトリミング知識の習得。
お客様にその愛犬に似合ったスタイルを提案できる知識を習得。
JKCトリマーC級試験合格。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

トリミング実習

回	テーマ	内容
1	1年次の振り返りと2年次に学ぶこと	1年次の振り返りと2年次の目標設定を行う
2	グルーミング用語	グルーミング用語の意味と作業内容を理解する
3	グルーミング作業1 ブラッシングからドライニングまで	作業の目的と求められる仕上がり理解する。効率の良いツール使い方と保定のポイントについて学ぶ
4	グルーミング作業2 (爪切り、耳掃除、クリッピング)	グルーミング中の注意事項と起こしやすい外傷と保定方法を学ぶ
5	グルーミング作業3 グルーミング作業の注意点と起こしやすい外傷について	犬を安全に扱うための各種作業の注意。グルーミングに必要とされる時間の意識について。ウイッグのブラッシング
6	トリミングデモンストレーション(ベアカット)	モデル犬を使用したベアカットのトリミングデモンストレーションを見学する
7	一般的な犬種のトリミングスタイル	代表的なトリミングスタイルの理解とカットのポイントを学ぶ
8	プードルのベアカット1	プードルのベアカットのクリップスタイルの特徴を学ぶ。ワーク: ウィッグカット
9	プードルのベアカット2	ベアカットのカット手順と作業のポイントを学び、トリミング実習に応用できる知識を身に付ける。ワーク: ウィッグカット
10	プードルのベアカット3	ベアカットのカット手順と作業のポイントを学び、トリミング実習に応用できる知識を身に付ける。ワーク: ウィッグカット
11	プードルのベアカット4	ベアカットのカット手順と作業のポイントを学び、トリミング実習に応用できる知識を身に付ける。ワーク: ウィッグカット
12	プードルのベアカット5	ベアカットのカット手順と作業のポイントを学び、トリミング実習に応用できる知識を身に付ける。ワーク: ウィッグカット

回	テ　ー　マ	内　　容		
13	ビション・フリーゼのトリミング	ビション・フリーゼのベアカットのクリップスタイルの特徴を学ぶ		
14	皮膚と被毛	犬の皮膚と被毛の基礎知識を学び、犬の皮膚被毛の状況に最適な育毛方法を理解する		
15	期末試験	期末試験を実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC ドッググルーミングマニュアル ドッグ・グルーマーズ・プロフェッショナル・ワークブック	期末試験 実習・実技評価	60.0% 40.0%		実習・実技評価は ウイッグのトリミングワーク時の積極性と仕上がりを評価します

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング各論	動物健康美容学科/2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	30回	4単位(60時間)	必須

授業の概要

トリマーとして求められる各犬種のトリミング知識の習得を目標とした座学。専門用語知識だけでなく、各部位のトリミング要点を理論的に解説し、知識面で技術のサポートを行える内容を学びます。また、JKCトリマーC級学科試験の対策も行います。

授業終了時の到達目標

トリマーとして必要なトリミング知識の習得。お客様にその愛犬に似合ったスタイルを提案できる知識を習得。JKCトリマーC級試験合格。トリミングコンペにて成果を出す。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

座学で学んだことをトリミング実習授業で実践する

回	テーマ	内容
1~2	前期復習。JKCとJKCトリマーC級試験の説明	科目的目的、授業評価について説明。前期復習(グループミングについて)。JKCトリマーC級試験の概要説明。ウイッグのブラッシング
3~4	業界で求められるトリマーとは	トリマーとして求められる技術と知識。めざす資格と検定団体、トリマーとして卒業後の目標について説明。ウイッグのブラッシング
5~6	プードルの基礎知識	プードルの外観と用途、特徴について学ぶ。プードル犬体の描写練習
7~8	ケネルクリップ1	ケネルクリップのトリミング手順とカットライン。完成図のイメージを養うための描写練習。ウイッグにてケネルクリップのクリッピングを行う
9~10	ケネルクリップ2	ケネルクリップのトリミング手順とカットライン。完成図のイメージを養うための描写練習。ウイッグにてケネルクリップの足回り~後躯のトリミング
11~12	ケネルクリップ3	ケネルクリップのトリミング(線と面)の説明。完成図のイメージを養うための描写練習。ウイッグにてケネルクリップの後躯~前躯のトリミング
13~14	ケネルクリップ4	ケネルクリップのトリミング(仕上げと重心重心のバランス)の説明。完成図のイメージを養うための描写練習。ウイッグにてケネルクリップの前躯~ボディのトリミング
15~16	ケネルクリップ5。JKC学科試験対策1	完成図のイメージを養うための描写練習。ウイッグにてケネルクリップの頭部~ネックのトリミング。JKC学科試験対策1(学科試験問題の解説)
17~18	ケネルクリップ6。JKCトリマー試験対策2	完成図のイメージを養うための描写練習。ウイッグにてケネルクリップの耳・尾~全体のトリミング。JKC学科試験対策2(学科試験問題の解説)
19~20	ケネルクリップ7。JKCトリマー試験対策3	完成図のイメージを養うための描写練習。ウイッグにてケネルクリップの全体のトリミング。JKC学科試験対策3(学科試験問題の対策問題)
21~22	ケネルクリップ8。JKCトリマー試験対策4	完成図のイメージを養うための描写練習。ウイッグにてケネルクリップの全体チッピング。JKC学科試験対策4(学科試験問題の対策問題)

回	テ　ー　マ	内　　容
23～ 24	ケネルクリップ9。JKCトリマー試験対策5	完成図のイメージを養うための描写練習。ウィッグにて時間を測りケネルクリップの全体トリミング手順の確認。JKC学科試験対策5（学科試験問題の対策問題）
25～ 26	ケネルクリップ10。JKCトリマー試験対策6	完成図のイメージを養うための描写練習。ウィッグにて時間を測りケネルクリップの全体チッピング。JKC学科試験対策6（学科試験問題の対策問題）
27～ 28	ウィッグのデザインカット	ウィッグを使用したデザインカットの考案とイメージを基に実際にトリミングを行う
29	卒業前講演会	業界講演会としてペット関連企業の講師の方より、就職前の心構え」を講演していただく

回	テ　ー　マ	内　　容		
30	期末試験	期末試験を実施		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
JKC ドッググルーミングマニュアル。ドッグ・グルーマーズ・プロフェッショナル・ワークブック	期末試験 課題・レポート 実習・実技評価	50.0% 10.0% 40.0%	実習・実技評価は ウイッグのトリミングワーク時の積極性と仕上がりを 評価します	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
トリミング実習	動物健康美容学科／2年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	120回	7単位（240時間）	必須
授業の概要			

ペットショップ、動物病院で活躍できるトリマーとしての技術を習得する。トリミングを行う各犬種のベーシックなカットから、流行のカットの技法を習得するための技術を身につける。モデル犬に負担をかけない効率の良い作業を行う技術を習得する。

授業終了時の到達目標

JKCトリマーC級試験合格。時間内にトリミングを完成できる。お客様の要望するメニュー通りのトリミングができる。その犬の体型バランスを考えたトリミングができる。

実務経験有無	実務経験内容
有	【実務経験】矢吹宴：トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

トリミング総論にて基礎知識を理解する

回	テーマ	内容
1～5	1年次の実習授業の復習。シャンプーとブローの基礎の見直し。モデル犬に負担をかけない保定技術の習得。各種犬具の扱い。	グルーミング各作業の目的を理解しながら作業を行う。トリミングにおいてのモデル犬に安全な、保定と道具の扱いが行える実習を行う
6～15	担当モデル犬のグルーミングを指定時間内に完了させる。トリミングの基礎的なカット技術を習得する	ブラッシング、ペイジング、爪切り、耳掃除の作業において担当教員のチェックでやり直しが無いように仕上げる。基本的な犬の扱い、道具の扱いができる。大まかなトリミングが行える。
16～45	総合的なトリミングの実践（前半）	犬種ごとの顔のカットの基本的なスタイルを理解する。目の周りや口周りの被毛を安全にカットするための注意点を理解し実践する。クリッパーとハサミを連携させ、犬のボディの基本的なカットができるようになる。
46～85	モデル犬の状態と作業時間を意識したトリミングの実践	被毛の流れに沿ったカットを意識し、自然な仕上がりをめざす。犬の体型に合わせてカットの調整ができるようになる。その犬種特有のカットに必要な技術を習得する。指定時間内にグルーミング～トリミング作業を完了する。
86～119	総合的なトリミングの実践（後半）と評価	より複雑なカットや犬種別のカットに挑戦し、仕上がりの精度を高める。トリミングの全工程をスムーズかつ効率的に行える。自身のトリミングの課題を認識し、改善点を見つけられる。講師からの評価を受け、今後の学習に活かす。
120	期末試験	期末試験として試験形式でモデル犬のトリミングを行う

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル。ドッグ・グルーマーズ・プロフェッショナル・ワークブック	実習・実技評価 課題・レポート 期末試験	40.0% 20.0% 40.0%	実習・実技評価は実習中の授業態度や協調性、モデル犬の扱いなどを総合的に評価します

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
プロフェッショナルトリミング	動物健康美容学科／2年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	120回	8単位（240時間）	必須

授業の概要

ペットショップ、動物病院で活躍できるトリマーとしての技術を習得する。トリミングを行う各犬種のベーシックなカットから、流行のカットの技法を習得するための技術を身につける。モデル犬に負担をかけない効率の良い作業を行う技術を習得する。

授業終了時の到達目標

本実習は、ジャパンケネルクラブ（JKC）のトリマー資格試験合格を目指とし、プロのトリマーとして必要な知識・技術・実践力を総合的に習得することを目的とします。犬種ごとのスタンダードに基づいたトリミング技術はもちろん、安全管理、衛生管理、犬の扱い方、カウンセリング、関連法規など、プロのトリマーとして不可欠な要素を実践を通して学びます。

実務経験有無	実務経験内容
有	【実務経験】矢吹宴：トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

トリミング各論にて知識を習得する

回	テーマ	内容
1～19	犬種別のトリミングの応用技術・知識の習得とJKC実技試験対策1	各犬種のお客様の要望に応えるトリミングスタイルに仕上げる。JKCトリマー試験の概要と審査基準を理解したトリミングを行う
20～39	犬種別のトリミングの応用技術・知識の習得とJKC実技試験対策2	モデル犬の被毛状態や体型に適したトリミングスタイルの考案。JKC実技試験時間を意識したトリミングの時間配分を行う
40～60	犬種別のトリミングの応用技術・知識の習得とJKC実技試験対策3	就職時のトリミングスピードを意識し、1人で2頭のトリミングを行える技術を身に付ける。毎授業で時間を図り実技試験本番を想定したトリミング作業を行う
61～69	犬種別のトリミングの応用技術・知識の習得とJKC実技試験対策4	実際の試験を想定した模擬試験の実施。JKC試験対策合格のための知識と技術の再確認。
70～71	校内トリミング競技大会	校内トリミング競技大会を実施。対象者以外は出場者の見学を行う
72～79	犬種別のトリミングの応用技術・知識の習得とJKC実技試験対策5	JKCトリマー試験に向けた最終段階の技術向上と技術課題の確認を行う
80	JKCトリマー試験	JKCトリマー試験を実施
81～118	犬種別のトリミングの応用技術・知識の習得と全国大会出場者の技術力の向上	一般トリミング犬種の健康を安全を考慮したトリミングを行う。全国大会入賞に向けた実技指導
119	期末試験	期末実技試験を実施
120	期末試験	期末実技試験を実施

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
JKCグルーミングマニュアル。ドッグ・グルーマーズ・プロフェッショナル・ワークブック	実習・実技評価 課題・レポート 期末試験 検定結果	40.0% 20.0% 30.0% 10.0%	実習・実技評価は実習中の授業態度や協調性、モデル犬の扱いなどを総合的に評価する。

回	テ　ー　マ	内　　容	合的に評価します

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ	動物健康美容学科／2年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須

授業の概要

卒業後の社会人生活において充分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。

授業終了時の到達目標

卒業後の社会人生活において充分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。

実務経験有無	実務経験内容
無	

時間外に必要な学修

履歴書や申請書の記入と提出

回	テーマ	内容
1	春就職活動の振り返り	3月に実施した就職活動を振り返り、今後の計画を立てる
2	社会人力アップ①	挨拶・上司先輩との付き合い・休憩時間・休みの取り方
3	社会人力アップ②	正しい敬語
4	社会人力アップ③	電話マナー
5	社会人力アップ④	人間関係編
6	知っておこう①	詐欺について
7	知っておこう②	社会保険・年金・雇用保険について
8	知っておこう③	出勤について
9	知っておこう④	退勤について
10	知っておこう⑤	社会人になる覚悟
11	知っておこう⑥	SNSの利用について
12	知っておこう⑦	領収書
13	働く前の心得①	職場に慣れる8つのコツ
14	働く前の心得②	トラブル対応

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	働く前の心得③	新社会人が入社前に押さえておきたい7つの心得		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		課題・レポート 実習・実技評価	80.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座IV	動物健康美容学科／2年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須

授業の概要

社会人として必要な基本的なマナーとコミュニケーション能力、自己管理力を養い、職場における円滑な人間関係構築や主体的な行動が取れるようになることを目的とする。就職直前で、自らを客観視し、社会人としての意識を高めることが狙い。

授業終了時の到達目標

- ・社会人としての基本的なマナー、常識を理解し、実践できる
- ・報連相やビジネスコミュニケーションの基本を習得する
- ・チームの中で役割を果たし、協働できる力を育む
- ・自己管理、時間管理の重要性を理解し、計画的に行動できる
- ・社会人としての心構えを身に着け、就職後の不安を軽減する

実務経験有無	実務経験内容
無	

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	社会人基礎力とは	社会人基礎力（前に踏み出す力、考え方抜く力、チームで働く力）の理解
2	身だしなみ、挨拶などの基本マナー	第一印象、清潔感、TP0に合わせた服装や振る舞い
3	敬語、言葉遣いの基礎	社会人としてふさわしい言葉遣い、NG例と正しい敬語表現の確認
4	社内コミュニケーションの基本	上司、同僚、取引先との適切な関わり方、聞く力、伝える力の演習
5	報告・連絡・相談の実践	報連相の重要性、タイミングや伝え方の練習
6	ビジネス文書とメールの基本	社内・社外メールのマナー、件名、本文、署名の正しい書き方
7	電話対応と訪問マナー	電話の受け方・かけ方、社外訪問時の流れと名刺交換の作法
8	チームワークと役割分担	チーム内での協力、リーダーとフォロワーの役割
9	時間管理、スケジューリング	優先順位のつけ方、ToDoリストや手帳の活用法
10	ストレス対処とセルフケア	社会人生活でのストレス要因、簡単な対処法や相談先の確認
11	自己分析（強み・弱み）	自分の特徴や価値観を整理し、職場でどう生かすかを考える
12	目標設定と行動計画	目標の立て方、就職後のキャリアイメージ作成
13	社会人の責任と倫理	遅刻・ミス・情報漏洩などの事例から、責任感、モラルを考える
14	職場トラブルと対応方法	ハラスメント、対人トラブルの予防と相談対応の仕方を学ぶ

回	テ　ー　マ	内　　容		
15	働く前の心得	新社会人が入社前に押さえておきたい7つの心得		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
	課題・レポート 実習・実技評価	80.0% 20.0%		